



学校だより

平成27年 5月1日
四日市市立小山田小学校

授業参観・学級懇談会・PTA総会(4月25日)

多数ご参加いただき ありがとうございます！

今年度はじめての授業参観はいかがでしたか？お家の方に見ていただき、いつもより張り切っていた子、緊張して固まってしまった子など、いろいろな表情が見られたのではないのでしょうか。子どもたちの成長やがんばりを大いに認め、褒めていただきたいと思います。

また、懇談会では、短い時間ではありましたが、どの学級も和やかな雰囲気の中、交流を深めていただく様子が伺えました。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



【土曜授業について】

今年度は、今回を含めて計8回予定しています。土曜授業のねらいは、①学力の定着 ②豊かな人間性の育成 ③開かれた学校づくりの3点です。



ボランティアさんに手伝っていただいて タケノコをとったよ！



運動場の南側に「竹の広場」があります。4月22日(水)は2年生が、4月23日(木)は1年生が、タケノコ掘りを体験しました。

ご指導いただいたのは、里づくりボランティアの皆さんです。子どもたちは、地面から顔を出したタケノコを見つけると大喜びでした。自分たちでタケノコのまわりの土を掘ったり、ボランティアさんに手伝ってもらったりして、たくさん収穫しました。

「おじさんに手伝ってもらって、2本もとったよ！」子どもたちには、忘れられない1日になったのではないのでしょうか。

自然に恵まれた小山田っ子は、地域の方からたくさんのことを学ばせてもらっています。



おはよう！ またあした！ おやまだっ子通信 やったあ！ だいじょうぶ？



小山田小学校長

もうすぐGWですね
その後、家庭訪問でお世話になります。

豊かな心って どんどころ！？

PTA総会でもお話しましたが、学校教育目標にある「豊かな心もち…」の“豊かな心”とは何でしょうか？ご家庭でも何かの機会に話し合っていただけだと思います。

学校では、さまざまな場面で、子どもたちの豊かな心に出会います。

一年生を迎える会（4月22日 写真①）では、6年生は1年生に喜んでもらおうと一生けんめいに出し物を演じました。また、お兄さん、お姉さんの発表を見て、「楽しかった！」「舞台の劇がおもしろかった」と目を輝かせる1年生の姿がありました。

前期児童会運営委員などの任命式（写真②）では、代表が「よりよい小山田小になるようにがんばります」と力強く決意を述べました。

避難訓練（4月23日 写真③）では、おはしもての合言葉（押さない・走らない・しゃべらない・もどらない・低学年優先）を守って、上手に訓練ができました。

20分休みを利用しての**体づくり遊び**（4月24日・28日 写真④）では、体育委員を中心に違う学年の友だちとも楽しく外遊びができました。

人を喜ばせたい、人の役に立ちたいと願う心。いいものを見て「すごい」と感動する心。お世話になったときに「ありがとう」といえる心。自分や人の命を大切に考えて、行動できる心・・・などなど。

これらすべてが“豊かな心”ではないでしょうか。



啐啄同時

なんと読むのでしょうか？そして、どんな意味があるのでしょうか？私は、この言葉のあるテレビドラマの中で知りました。

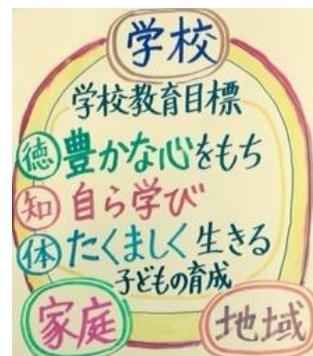
「そったくどうじ」と読みます。

啐（そつ）とは、ひな鳥が殻を破るために、内側からコツコツとつつくこと。

啄（たく）とは、親鳥が外から殻をコツコツとつつくこと。

中と外からの響きあい殻が割れて、ヒナが生まれるそうです。

野鳥の世界では、タイミングが合わないと、死んでしまうこともあるそうです。



どの子も伸びる力をもっている と言われます。

親や教師の指導と、子どもの自発が一致したときに、はじめて効果をあげるそうです。

スピードの違いこそあれ、子どもは自らの力で可能性を切り開いていくのだと思います（タケノコの成長のように!?!）。

大人が何でも先回りしてしまったり、子どもの思いを無視して、無理強いしたりするのではなく、子どもの自立を促すような関わりや支援（励まし）が必要なのではないでしょうか。



PTA 総会（4月25日）